

言語活動の充実に関する実践事例

学校名（呉市立阿賀小学校）

- ① 教科等 社会科 ② 学年 第5学年
- ③ 単元名 「これからの食料生産」
- ④ 本時の目標 スーパーに置かれた国産と外国産の食料について話し合うことを通して、食料輸入が増えた理由を資料から読み取り、我が国の食料生産について調べようとする意欲をもたせる。
- ⑤ 学習の流れ（1時間目／全7時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 スーパーには国産と外国産の食料があることに気付く。	・スーパーの国産と外国産の食料の実物を見せ、関心をもたせる。	
2 国産と外国産どちらの食料を買うか話し合う。	・買い物客の立場になることで食料問題を身近に感じさせる。	
国産と外国産の食料について調べ、外国から食料を輸入している理由を考えよう。		
3 食料の輸入が増えたことをとらえる。	・食料の輸入量の変化のグラフや天ぷらそばの食材の輸入の割合の円グラフから食料の輸入が増えたことに驚きをもたせる。	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 食料の輸入量の変化のグラフ→果物や肉の輸入が増えている。 天ぷらそばの材料の輸入の割合のグラフ→日本料理なのにほとんどが輸入している。 </div>		
4 食料の輸入が増えた理由を既習事項や資料から考え話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 食料の輸入が増えたのは、なぜだろうか。 </div> ・ノートや資料をもとに、食料の輸入が増えた理由について自分の考えを書かせる。 ・グラフから読み取ったことと写真から読み取ったことを関連させながら説明させる。 ・グラフや写真から読み取ったことを根拠に、グループで話し合い活動をさせる。	・自分たちの生活と食料生産とのかわりをもとに、食料の輸入が増えた理由を資料から読み取っている。〔観察・資料活用の技能〕 （発言・ワークシート） ・食料生産の現状について関心をもっている。〔社会的事象への関心・意欲・態度〕 （ノート）
5 本時の学習を振り返る。	・めあてに対して、学習した内容を振り返らせる。 日本人の食生活が変化し、肉やパン、果物など様々な種類の食材を食べるようになったことや、外国産の食材の方が国産より安いとため、多くの食材を輸入するようになった。	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 食料の輸入が増えた理由をグラフや写真などの資料と関連付けて読み取ることができる。

言語活動の充実のための工夫

- 個の考えを明確にさせるためにワークシートを活用させる。
- グループ討議をさせ、思考を深めさせる。
- 根拠や解釈を示して説明させるためにグラフや写真を活用させる。